



リモート接続先

この章では、BATを使用して、リモート接続先の詳細を挿入、削除、およびエクスポートする方法について説明します。

- [リモート接続先の挿入 \(1 ページ\)](#)
- [リモート接続先の削除 \(2 ページ\)](#)
- [リモート接続先のエクスポート \(3 ページ\)](#)

リモート接続先の挿入

BAT を使用して、リモート接続先の詳細を挿入できます。

始める前に

- リモート接続先固有の詳細情報を含むデータファイルをカンマ区切り値 (CSV) 形式で作成する必要があります。



(注) タイムゾーンの詳細は、丸カッコやアスタリスクを使用せずに入力します。たとえば、タイムゾーンとしてグリニッジ標準時を入力する場合は、「(GMT) Etc/GMT*」ではなく、「Etc/GMT」と入力します。

- トランザクションに関わるターゲットと機能に絞り込み、データファイルをアップロードします。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先 (Remote Destination)] > [リモート接続先の挿入 (Remote Destination Insert)] の順に選択します。

ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] ドロップダウンリストボックスで、アップロードしたファイルを選択します。

- ステップ3** 既存の設定をオーバーライドするには、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ4** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションに、ジョブの説明を入力します。[リモート接続先の挿入 (Insert Remote Destination)] がデフォルトの説明です。
- ステップ5** ジョブをすぐに実行するか、それとも後で実行するかを選択できます (対応するラジオボタンを選択します)。
- ステップ6** リモート接続先を挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- [ステータス (Status)] セクション内のメッセージで、ジョブが正常に送信されたことを確認できます。
- ステップ7** [一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

リモート接続先の削除

BAT を使用してリモート接続先を削除できます。

始める前に

- リモート接続先固有の詳細情報を含むデータ ファイルをカンマ区切り値 (CSV) 形式で作成する必要があります。



(注) bat.xlt で作成された挿入トランザクションまたはエクスポート トランザクションのファイルを削除トランザクションに使用しないでください。代わりに、削除すべきリモート接続先レコードの詳細を含むカスタムファイルを作成する必要があります。削除トランザクションにはこのファイルだけを使用してください。このカスタム削除ファイルでは見出しが不要で、名前や説明の値を入力できます。

- 関連するターゲットやトランザクションの機能を選択することによって、データ ファイルをアップロードします。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先 (Remote Destination)] > [リモート接続先の削除 (Remote Destination Delete)] の順に選択します。
- ステップ 2** [リモート接続先の削除 (Delete Remote Destination where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。
- 名前
 - 通知先 (Destination)
 - [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]
 - デュアルモードフォン (Dual Mode Phone)
- ステップ 3** [カスタムファイル (custom file)] ドロップダウン リスト ボックスから、リモート接続先の削除用にアップロードしたファイルを選択して、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 4** 選択したリモート接続先と一緒に [ジョブ情報 (Job Information)] セクションが表示されます。
- ステップ 5** ジョブをすぐに実行するか、それとも後で実行するかを選択できます (対応するラジオボタンを選択します)。
- ステップ 6** リモート接続先を削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- [ステータス (Status)] セクション内のメッセージで、ジョブが正常に送信されたことを確認できます。
- ステップ 7** このジョブをスケジュールするか、アクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
- 注目** リモート接続先を削除すると、そのリモート接続先に関連付けられた時刻アクセスレコード、時間帯レコード、およびスケジュールレコードもまた削除されます。

関連トピック

[サーバへのファイルのアップロード](#)

リモート接続先のエクスポート

BAT を使用してリモート接続先をエクスポートできます。



- (注) エクスポートするリモート接続先を選択した後、2 番目の [リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination Configuration)] ウィンドウからヘルプにアクセスしている場合は、[ステップ 8 \(5 ページ\)](#) に進みます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先 (Remote Destination)] > [リモート接続先のエクスポート (Remote Destination Export)] の順に選択します。
[リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [リモート接続先の検索 (Find Remote Destination where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。
- 名前
 - 通知先 (Destination)
 - [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]
 - デュアルモード電話
- ステップ 3** 2 番目の [リモート接続先の検索 (Find Remote Destination where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。
- ~で始まる
 - ~を含む
 - ~が次の文字列で終わる
 - 次の文字列と完全に一致する
 - 空である
 - ~が空ではない
- ステップ 4** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
- ヒント** データベースに登録されているすべてのファイルを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** クエリをさらに定義するには、次の手順を実行します。
- ドロップダウン リスト ボックスから [AND] または [OR] を選択して、[ステップ 2 \(4 ページ\)](#) ~ [ステップ 4 \(4 ページ\)](#) を繰り返します。
 - フィルタを追加するには [+] ボタンをクリックし、フィルタを削除するには [-] ボタンをクリックします。
 - 一度にすべてのフィルタを削除するには、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックします。
- ステップ 6** [検索 (Find)] をクリックします。
検出されたファイルのリストが次の分類で表示されます。
- 名前
 - 通知先 (Destination)
 - [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]
 - デュアルモード電話

- ステップ7** [次へ (Next)] をクリックします。
次の [リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ8** [リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination)] セクションの [ファイル名 (File Name)] フィールドにファイル名を入力します。
- ステップ9** [ファイル形式 (File Format)] ドロップダウン リスト ボックスから、[リモート接続先形式 (Remote Destination Format)] を選択します。
- ステップ10** ジョブをすぐに実行するか、それとも後で実行するかを選択できます ([ジョブ情報 (Job Information)] セクションで対応するラジオ ボタンを選択します)。
- ステップ11** リモート接続先をエクスポートするためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

[ステータス (Status)] セクション内のメッセージで、ジョブが正常に送信されたことを確認できます。
- ステップ12** このジョブをスケジュールするか、アクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。